

総務常任委員会

平成23年8月18日午前9時から第1会議室で開かれた。

1. 出席委員

◎伴 吉晴	○宮崎 和彦	中西 和夫
坂口 徹	飯高 昭二	木澤 正男
嶋田 議長		

2. 理事者出席者

町 長	小城 利重	副 町 長	池田 善紀
教 育 長	清水 建也	総 務 部 長	西本 喜一
総 務 課 長	黒崎 益範	同 課 長 補 佐	谷口 智子
同 課 長 補 佐	安藤 晴康	企画財政課長	面巻 昭男
同 課 長 補 佐	河野 京子	同 課 長 補 佐	真弓 啓
税 務 課 長	加藤 恵三	同 課 長 補 佐	本庄 徳光
会 計 管 理 者	野崎 一也	会 計 室 長	山崎 善之
監査委員書記	山崎 篤	教委総務課長	西川 肇
生涯学習課長	佃田 眞規	同 課 長 補 佐	東浦 寿也
同 係 長	平田 政彦		

4. 会議の書記

議会事務局長	藤原 伸宏	同 係 長	安藤 容子
--------	-------	-------	-------

5. 審査事項

別紙の通り

開会（午前９時００分）

署名委員 坂口委員、飯高委員

委員長 おはようございます。それでは、全委員出席されておりますので、ただ今より、総務常任委員会を開会いたします。
これより、本日の会議を開きます。
町長の挨拶をお受けいたします。 小城町長。

町 長 おはようございます。総務常任委員の皆さん方には早朝からご出席賜りまして厚くお礼申し上げます。また猛暑の中でございますけれども、ひとつ９月議会を控えましての委員会ということで、皆様方のご協力をお願いします。
特に継続審査でございますけれども、歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関すること、この関係につきましては中宮寺が史跡の関係で発掘が第３次まで終わったということでございます。そういうなかでいろいろと８月３０日は中宮寺史跡の会議等を行っていくわけですが、また皆さん方いつも心配をいただいております文化財センターにつきましても、一応活用、あるいはまた利用が増えてきているのではないかとということでございます。そういうことの報告をさせていただきます。また、９月定例議会の付議予定議案につきましては、特に（１）特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、これはインフルエンザ等の関係で、広域７町でやっていたやつの関係で、各条例やっぺいこうということで、今年度からそういう取り組みのなかで、報酬等を町でやっている報酬に合わせていきたいということでの関係でございます。また斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について、あるいは斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について、消防ポンプ自動車の購入につきましては、第３分団の消防の関係のポンプ車を１７年という経過をしておりますので、新しく購入をしていこうということで、入札を行った関係等についての８００万以上の関係でございますので、請負契約ということでございます。また、各課報告事項等につきましては、岩手県大槌町の災害支援について、特にまたこの１９日からは議員の有志の皆さん方が、大槌町へ行っていただけるということもありがたいと感謝をしております。また、斑鳩町につきましても特に

また皆さん方から、大槌町への復興、復旧ということで、非常に力をいれていただきまして、特に昨日あたりも、中宮寺さんから100万円ということで、大槌町の皆さんに「笑顔」という色紙をかいただいて、一日も早く笑顔が戻るようにということでございます。そういうことの関係についての報告をさせていただきます。また、平成23年度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）について、あるいは子ども模擬議会の結果について、特に暑い中の関係で、嶋田議長をはじめ、そしていろんな関係等について、子ども模擬議会が盛大に行われました。特に子どもからは率直な意見がありまして、斑鳩小学校のはとぼっぼ広場のベンチがもう古いからと、取り外していただいて広くなったほうがいいやないかということもございます。その点については教育長とも相談申しあげて、もし撤去できるんだったら早く、夏休み中に撤去できるような対応をしてほしいということを申しあげております。そういう関係等についての、皆さんに担当からご報告申しあげます。そういうことで、ひとつ慎重審議を賜りますことを心からお願いいたしまして、あいさつとさせていただきます。

委員長

最初に、本委員会の会議録署名委員を私より指名いたします。

署名委員に、坂口委員、飯高委員のお2人を指名いたします。お2人にはよろしく願いいたします。

本日予定しております審査案件は、お手元に配布しておりますとおりでございます。

はじめに、1. 継続審査、（1）斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについてを議題といたします。

理事者の報告を求めます。 佃田生涯学習課長。

生涯学習
課長

継続審査、（1）斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて、ご報告申し上げます。

まず、斑鳩町文化財活用センターの運営についてであります。

前回の委員会でも少しふれさせていただきました夏季企画展「古文書から見える江戸時代の法隆寺村 一安田家文書展一」を現在、8月4日（木曜）から9月6日（火曜）までを会期としまして開催しております。

そして、この展示会への理解を深めていただくことを目的として、今回の展示会をご監修いただいた天理大学の谷山正道教授による歴史講座を、去る8月7日に開催いたしました。なお、講座の参加者は70名でありました。これも前回の当委員会において、ご報告しております「こども考古学教室」につきましては、歴史と文化の豊かな斑鳩町にある文化財への興味や関心を高めていただくことを目的として、「こども勾玉づくり教室」を8月27日に、町内の小学4年生～6年生とその保護者を対象に開催を行います。また、斑鳩町文化財活用センター運営委員会を8月25日に開催し、今年度事業における経過報告を行い、今後の展示会の開催等について、ご協議をいただく予定をしております。

続きまして、史跡中宮寺跡の整備についてであります。史跡中宮寺跡整備検討委員会を8月30日（火）に開催し、平成22年度の調査成果をご報告し、今年の事業計画等、ご意見を賜り、整備にむけての検討を進めてまいります。次に、史跡整備以後、春と秋に開催しております史跡藤ノ木古墳石室特別公開につきましては、秋季の石室特別公開を11月5日と6日の土日に開催する予定で、現在、事前の事務を進めております。

また、中国陝西省西安市にあります陝西歴史博物館で10月21日から12月11日の間で、奈良県が中国陝西省と共同開催する日本考古展―古都奈良出土考古文物精華展に、藤ノ木古墳出土の金銅製馬具の一部なども展示されます。そして、この展示会へ出展出土品の地元の首長として町長、また、説明員として当町の職員の派遣についても、奈良県から要請を受けており、現在、調整をさせていただいているところであります。

以上、簡単ではありますが、斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについての、ご報告とさせていただきます。

委員長 説明が終わりましたので、質疑・ご意見があればお受けいたします。
木澤委員。

木澤委員 中宮寺遺跡の活用についてですけれども、30日に委員会ですかね、開かれるということで、以前にも地元の人たちの声をどう反映していくのかということ、聞かせていただいた経緯があるんですけども、30日は専門家の方

だけですか。

生涯学習
課長 30日におきましては、検討委員会の委員さんだけでちょっと検討していただいて、その結果をもって、また地元へ入るとかいうのをご相談させていただけたらと思っております。

木澤委員 そこで検討されるものを先つくって、地元提案されるって、さっき課長そうおっしゃったんですけども、そこで議論する中で、地元でこんな声がありますよというようなことでは反映はできるんですか。またちょっと違うんですか、僕も実際どういうことで中身の検討されるのかは今ぱっと想像つかないんで、その辺のところ教えてください。

町 長 これは一概に言いますと、藤ノ木古墳でも一緒に、地元の西里の関係等、検討委員会を重ねるわけですけども、だいたい大まかには先生方のご意見、そして地元のご意見というのは出ますけども、だいたい集約として座長がまとめていくということでございますので、なかなかそういう史跡の公園という関係等については地元のご意向というのは、だいたいこういうものをつくってほしいとかいうことはあってもですね、なかなかそういう専門家等がやはりありますから、そういう1つの意見として、参考として、取り入れていくということになっていくと思いますので、やっぱり史跡の公園というのはやっぱり建物が建てられる、建てられないという状況がございますから、なんでもいいわということではないですから。やっぱり史跡としての中宮寺のイメージを大事にしていくと、だから木澤委員がおっしゃるように地元のご意見というのは、いろんなご意見があるけれども、それをまとめていただくというのが一番大事なんです。だからそういうことも十分聞かせていただいて、藤ノ木古墳ということで立派なものが、地元の方々もそういうことで受け入れていただけるとそういう環境づくりをしていくことが大事だと思います。

木澤委員 専門的なことで、地元の人の声を反映するというのはなかなか難しいでしょうけど、例えば犬の糞害の関係とか、こういうスペースほしいというところ

ろに、やはり専門的な部分と組み合わせて、総合的に、町長、今、意見参考にするということでおっしゃっていただきましたけども。視察に行った先では協議会みたいなものつくってね、地元の人から声を聞いていたという取り組みも先進的にされてましたんでね、そういうところも参考にさせていただいて、十分に地元の人々の声も反映できるような形で整備を進めていっていただきたいというふうにお願いしておきます。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 これをもって質疑を終結いたします。

継続審査については報告を受け、一定の審査を行ったということで終わります。

次に、２．９月定例会の付議予定議案についてを議題といたします。

９月定例会において提案が予定されている議案について、あらかじめ説明を受けることといたします。

初めに、（１）特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、理事者の説明を求めます。

黒崎総務課長。

総務課長 （１）特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてでございます。資料１の最後のページの要旨をご覧ください。

(要旨朗読)

総務課長 資料の１ページ目にお戻りいただけますでしょうか。

斑鳩町予防接種健康被害調査委員会の委員の日額は８，０００円としております。

これにつきましては、当町の非常勤の特別職の報酬額につきましては、平

成18年度に斑鳩町特別職報酬等審議会においてご審議していただき、法令等で報酬額に基準のあるものを除いて、会議等における審議に関し、専門的知識を有することが必要なものについては8,000円、その他のものについては5,000円と審議結果をいただいております。その審議結果を踏まえ、今回の斑鳩町予防接種健康被害調査委員会の委員については、斑鳩町が実施した予防接種による健康被害の適正かつ円滑な処理に資することを目的に、予防接種による健康被害発生に際し、医学的な見地から調査を行うという専門的知識を有することが必要であることから、報酬額を8,000円といたしております。以上、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてのご説明とさせていただきます。

委員長 説明が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。

(な し)

委員長 次に、(2)斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について、理事者の説明を求めます。加藤税務課長。

税務課長 それでは、(2)斑鳩町町税条例の一部を改正する条例につきまして、ご説明させていただきます。

資料2の末尾、『斑鳩町町税条例の一部を改正する条例(要旨)』をご覧くださいと思います。

今回の町税条例の一部改正につきましては、「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」が、本年6月30日に施行されたことから、本条例において、所要の改正を行うものであります。

その主な改正内容についてであります。大きく3点ございます。

1点目といたしましては、「①寄附金税額控除の適用下限額の引下げであります。

これは、寄附文化の裾野を広げるための税制面からの支援として、個人町

民税において、所得割の納税義務者が平成23年1月1日以後に支出する寄附金について、寄附金税額控除の適用下限額を現行の5千円から2千円に引き下げるものでございます。この改正規定の施行日は、交付の日とし、平成24年度から適用するものでございます。本改正に伴う町税への影響につきましては、本年度の課税状況のデータからみると対象者は22人、影響額については、町分だけで約2万2千円の減収となります。

次に2点目といたしましては、「②軽減税率の特例の適用期限の延長等」でございます。これは、本年12月末をもって廃止予定でありました上場株式等の配当所得及び譲渡所得等に対する軽減税率、所得税7%、住民税3%、合計10%について、現下の厳しい経済情勢にあつて景気回復に万全を期するため、本則課税、所得税が15%、住民税が5%、合計20%の適用を2年延長し、平成25年12月31日まで軽減税率の適用期限を延長するものであります。この改正規定の施行日は交付の日とし、平成25年12月31日までの間に支払いを受けるべき、上場株式等の配当所得及び上場株式等の譲渡により生じた譲渡所得等に適用するものでございます。

また、軽減税率廃止後において、個人の市場参加の促進を図るため予定していた、非課税口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置に係る所得計算の特例についても、施行日を2年間延長し、平成27年1月1日とするものであります。

この改正規定の施行日は交付の日とし、平成26年1月1日以降に支払いを受けるべき非課税口座内上場株式等の配当所得及び非課税口座内上場株式等の譲渡により生じた譲渡所得等に適用するものでございます。

最後に3点目、その他として、不申告に関する過料の引上げ等及びその他法令の改正による条文整理についてであります。

これは、地方税法の改正にあわせて不申告に関する過料の引上げ等を行うとともに、本条例に引用している条番号、項番号等の改正が行われましたことに伴い、本条例の条文の整理等を行うものであります。

以上が斑鳩町町税条例の一部を改正する条例の要旨でございます。説明につきましては以上でございます。

委員長

説明が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいた

します。 木澤委員。

木澤委員 1点目につきましてはね、いいかなと思うんですけども、2点目はまた出てきたかという感じしてます。これもまた申告制になるかと思えますけども、2点目については影響額というのは今の段階ではどういうふうに考えてはるんですかね。

税務課長 この2点目の株式の軽減税率の適用でございますけども、この町の歳入につきましては、交付金という形で現在入っております。配当割交付金というものと、株式等譲渡所得割交付金という2種類で町のほうに入ってきているわけなんですけども、平成22年度の決算額をベースに申し上げますと、平成22年度に配当割交付金として、町に歳入として入ってきている額につきましては1,256万7千円でございます。これが軽減税率が適用なくなり、本格課税になりますと、概ね2,094万5千円程度の歳入となります。結果として837万8千円の増収という形になる見込みと計算されます。また、株式等譲渡所得割の交付金につきましては、平成22年度の決算額で373万3千円、これが軽減税率が廃止されますと、620万程度の歳入となりますので、概ね240万程度の増収となるというふうに考えております。

委員長 よろしいですか。他にございませんか。

(な し)

委員長 次に、(3)斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について、理事者の説明を求めます。 加藤税務課長。

税務課長 それでは、(3)斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例につきまして、説明させていただきます。

恐れ入りますが、資料3の末尾、『斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例(要旨)』をご覧いただきたいと思います。

今回の都市計画税条例の一部改正につきましては、先ほどの町税条例と同

じく「現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律」が、本年6月30日に施行されましたことから、本条例において、所要の改正を行うものであります。

改正内容につきましては、地方税法において政策税制措置として定められている固定資産税等における課税標準の特例措置の見直しが行われ、適用実績が僅少なものの等の特例の廃止に伴い、地方税法条文の、項の繰上げ、繰り下げが行われましたことから、本条例に引用している条文の整理を行うものでございます。施行日は、公布の日でございます。

なお、本改正に伴う町税への影響についてはございません。

以上をもちまして斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例につきましての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長 説明が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。

(な し)

委員長 次に、(4)消防ポンプ自動車購入について、理事者の説明を求めます。
黒崎総務課長。

総務課長 消防ポンプ自動車購入についてであります。お配りしております資料4をご覧ください。

消防車両の整備につきましては、今日まで消防車両整備計画に基づき、ポンプ車は15年で更新することといたしており、第3分団の消防ポンプ車が、本年でまる17年が経過するところから、火災時等における住民の生命・財産を守る消防活動に支障をきたすことのないよう万全を期するため、当消防ポンプ自動車を更新することとし、本年12月初旬ごろまでに買い替えを行いたいと考えております。このことから、ポンプ車の購入価格が700万円を超えますことから、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条及び地方自治法第96条第1項第8号の規定に基づき、議会のご承認を得ようとするものであります。なお、消防ポンプ自動車の特殊

性により、発注して完成まで約4ヶ月程度を要しますところから、12月初旬までに納車、年末警戒、出初式等に間に合わせるため、機種選定等を分団とも協議するなかで、早期に発注する必要があることから、本年7月29日に入札を行いました。

その結果、落札者は（株）モリタ大阪支店、支店長、平田隆吉で、落札金額は、税込み1,407万円でございます。

なお、12月初旬までの納車をしたいと考えておりますことから、落札業者と仮契約を締結し、9月議会においてご承認を賜りましたならば、本契約を締結したいと考えておりますので、何卒温かいご理解を賜りますようよろしくお願いをよろしく申し上げます。

以上で消防ポンプ自動車購入についてのご説明とさせていただきます。

委員長 説明が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。

（ な し ）

委員長 ないようでしたら、以上、9月定例議会に付議が予定されている事案については、あらかじめ説明を受けたということで終わります。

次に、3. 各課報告事項についてを議題といたします。

まず初めに、（1）岩手県大槌町への災害支援について、理事者の報告を求めます。 黒崎総務課長。

総務課長 岩手県大槌町への災害支援についてであります。3月11日に発生した地震と津波による甚大な被害を受けた岩手県大槌町の少しでも早い復興を願い、住民皆様、企業・団体等の皆様から救援物資や義援金を募り、また、行政として復興の手助けをするため、現地へ町職員を派遣するなど、本町独自の支援を続けている旨、本年6月の総務常任委員会でご報告させていただきましたところでございますが、その後の状況について追加支援等を中心にご報告させていただきます。

それでは、お配りいたしております資料5をご覧ください。

はじめに「１．町職員の派遣」についてであります。救援物資の避難所、学校等への提供、大槌町役場仮庁舎での窓口業務支援などを行うため、斑鳩町職員を派遣いたしております。派遣の日程は、平成２３年４月２０日から８月３１日で、派遣期間中の町職員の実人数は４１人、延べ人数は５５名でございます。また、職員派遣につきましては、当初は、５月末までを予定しておりましたが、随時大槌町の状況を考慮する中、８月末まで延長することといたしました。なお、被災当初から支援が必要と考えていた住民票や戸籍等発行業務、罹災証明、仮設住宅入居手続き等の窓口業務、また、８月２８日執行予定の町長選挙・町議会議員選挙の事務等について、職員派遣当初の初期の目的が完了したため、職員派遣による支援を終了することといたしました。派遣職員につきましては、被災地での支援活動を通して、被災地の現状及び復興状況を直接経験することにより、今後の町政における防災・災害に関する事務などに活かしていけるものであると期待しております。

次に「２．救援物資の提供」についてでございます。本町の災害備蓄品をはじめ、住民や町内の企業・団体、さらには友好都市である兵庫県太子町から提供を受けた救援物資を搬送し支援を行いました。募集期間、募集内容、送付数量などの詳細につきましては、資料５の裏面、別紙のとおりであります。資料５の裏面をご覧ください。支援物資等の種類・品目ごとの数量をお示ししております。４月１９日に第１陣、５月１日に第２陣として、諸物品及び支援金を現地へ搬送いたしておりますが、第２陣送付後にいただきました文房具、生活用品などの物資につきまして、「小・中学生向けの図書の寄贈」に合わせて８月２０日に搬送を予定しております。

次に、「３．支援金の受付」についてでございます。被災地の復興支援を目的とした支援金の募集を行ったものであり、受付期間は随時の受付とし、８月１５日現在の義援金受付金額は４，３０４，６７７円、その内、現在、２，４５０，０００円を現地、大槌町へ寄贈させていただいており、８月２０日には、１，０００，０００円を寄贈させていただくこととしております。

次に「４．小・中学生向けの図書の寄贈」についてであります。

大槌町では、小・中学校及び図書館が津波の被害に遭い、図書がたいへん不足していることから、当町の住民及び児童・生徒の皆様方から、小・中学生向けの図書の募集を行いました。募集期間、募集内容、受付場所、募

集方法、受付につきましては、資料にお示ししておりますとおりでございます。また、受付件数・冊数についてであります、役場受付分は5, 544冊、学校受付分は841冊で、計6, 385冊であり、その内、汚れや破損のない図書を、図書館ボランティアの皆様方のご協力を得ながら、寄贈図書の仕分け作業を行い、役場受付分では2, 779冊、学校受付分では712冊、計3, 491冊を大槌町図書館及び小中学校へ寄贈させていただくことといたしました。

以上、岩手県大槌町への支援についてのご報告とさせていただきます。

委員長 報告が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。 木澤委員。

木澤委員 非常に職員の皆さんもご苦労いただきまして、大変な中ありがとうございます。8月31日で職員の派遣は一旦打ち切りというふうに報告がありましたが、向こうの庁舎の状況というのは職員体制とかどういうふうになってきているのでしょうか。ちょっとその辺教えていただけますか。

町 長 私ども、副町長をはじめ、皆さん方と相談を申しあげましたら、一応8月23日告示の28日に投票されます町長選挙、町議会選挙が一応8月28日に決まりますから、その後新しい町長、あるいは議長にお会いしてその後のことを考えていきたいと思っています。一応は選挙が終わって、新しく町長ができますから、そういうことの一定のけじめとして8月31日ということでございます。職員の状況は30何名の方が3月11日の津波で流され行方不明で亡くなっておられます。あと現状は私8月3日、4日行きまして、職務代理者とお会いしますと、やっぱりその現状から職員がですね、寝ても夢の中からいろんなことが出て、ストレスが溜まる、またあるいは精神的に苦痛を訴えて辞めていく職員もおられますので、現状としては職員は減っておりますと。そういう支援、静岡県とか、方々から支援をいただいている方々に協力いただいて今なんとかやっていると。それと併せて今、職務代理者は泊まってもらうところがやっぱり大槌ではないですから、新しく町長ができれば、大槌でそういうボランティアを受け入れる職員を派遣されたら、そ

の方が泊まっていただけるような場所ですね、早く造ってほしいと職務代理者は町長に進言するという事で、遠野で泊まって、それから1時間20分かかりますから、車で。そうしたら、7時に出ても8時20分ですから、そういう現況を考えますと運転する方も疲れますし、向こうで職員がいてる状況でも8時ぐらいまで手伝いをしますから、それから帰ってきて食事等ですから、本当に大変ご苦勞をかけているなと思っております。そういうことを考えますと、これから8月以降については、新しい町長とも一遍相談申し上げて、最終的に8月31日は副町長に行っていただいて、新しい町長ともお会いをしていただいて、その旨を申しあげていただくということで、今現状は進めております。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 次に、(2)平成23年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について、理事者の報告を求めます。 面巻企画財政課長。

企画財政課長 それでは、各課報告事項の(2)平成23年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)につきまして、ご説明を申し上げます。

恐れ入りますが、資料6をご覧くださいませでしょうか。この資料は、一般会計補正予算(第2号)につきましての全体に係る歳入・歳出総括表(案)となっております。このうち、総務常任委員会が所管されます補正につきましてご説明を申し上げますので、よろしくお願いいたします。

まず、今回の補正予算につきましては、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億1,578万1千円を追加し、歳入歳出それぞれ82億8,663万8千円とするものであります。

はじめに、歳入予算の補正についてでございますが、第9款 地方特例交付金では、平成23年度の児童手当及び子ども手当特例交付金をはじめとする各交付金の決定によりまして、490万3千円の減額補正をお願いしております。

次に、第10款 地方交付税では、平成23年度の普通交付税交付額の決定及び奈良県を通して行った東日本大震災応急物資の支援に係る特別交付税の受入れにより、普通交付税で1億4,336万1千円、特別交付税で572万6千円、あわせまして1億4,908万7千円の増額補正をお願いしております。次に、第13款 使用料及び手数料では、幼稚園の在園者数が当初見込みを下回ったこと等により、幼稚園保育料206万8千円の減額補正をお願いしております。

次に、第14款 国庫支出金の教育費国庫補助金で、私立幼稚園就園奨励費補助金の増額補正に伴い、18万9千円の増額補正を、また、学校施設環境改善交付金では、各幼稚園保育室・遊戯室エアコン整備事業に係る国庫補助金がこのたびの東日本大震災の影響で採択されなかったことにより845万6千円の減額補正をお願いしております。

次に、第17款 寄附金では、福祉基金及び生き生きふれあいメモリアルベンチにご寄附をいただきましたことから、福祉費寄附金で22万円、総務費寄附金で10万円の増額補正をお願いしております。

次に、第19款 繰越金では、平成22年度会計の決算余剰金の確定により、4億7,636万2千円の増額補正をお願いしております。

次に、第21款 町債では、（仮称）地域交流館建設事業債で、その建設につきましては、用地費も含めて、平成24年度から国のまちづくり交付金の活用が見込めることになりました。

このため、当初予算で計上させていただきました建設用地の取得を、土地開発基金で取得することとし、平成24年度に一般会計で買い戻すための予算措置を行わせていただきたため、予算計上している4,240万円全額の減額補正をお願いしております。また、当初予算で計上した町債のうち、地方交付税措置のない町債について、平成22年度会計の決算剰余金をもって財源が確保できることから、後年度の財政負担の軽減を図るために、土地改良事業債で2,340万円、学校教育施設等整備事業債で1,260万円、中央公民館リニューアル事業債で2,560万円、それぞれ予算計上している全額の減額補正をお願いしております。

臨時財政対策債では、本年度の発行額が確定したことから850万円の増額補正をお願いしております。

続きまして、歳出予算の補正についてであります。資料の裏面をご覧くださいいただけますでしょうか。はじめに、第2款 総務費では、一般管理費で、歳入のところで申しあげましたように、（仮称）地域交流館建設用地につきまして、平成24年度において、国のまちづくり交付金の活用が見込まれ、土地開発基金で取得させていただきたいことから、用地取得費4,000万円全額の減額補正をお願いしております。

財政管理費では、生き生きふれあいメモリアルベンチにご寄附をいただいたことから、その設置費用10万円の増額補正をお願いしております。

財産管理費では、（仮称）地域交流館建設事業の用地確保など、今後の土地開発基金の活用を図るため、基金保有地のうち、国庫補助金等での買戻しが期待できない代替用地につきまして、今後の決算剰余金を活用し、順次買い戻してまいりたいと考えております。このため、平成23年度におきましては、その所要額1億4,193万9千円の増額補正をお願いしております。

東日本大震災支援対策費では、奈良県を通して実施した応急物資の支援に係る特別交付税の受入れのうち、水道事業会計で実施した受入れ分につきまして繰り出すため、71万6千円の増額補正をお願いしております。

次に、第3款 民生費の社会福祉総務費で、福祉基金にいただいた寄附金22万円の基金積立てをお願いしております。

次に、第8款 消防費では、災害対策費で、奈良県を通して実施した東日本大震災応急物資の支援や大槌町への支援により町災害備蓄品に不足が生じていることから、その補充を行うため520万円の増額補正をお願いしております。

次に、第9款 教育費では、私立学校振興費で、私立幼稚園就園奨励費補助金の国庫補助限度額が改正されたことに伴い、補助単価を見直しましたことから、47万5千円の増額補正をお願いしております。町民体育大会費では、東日本大震災により開催を見合わせましたことから、その開催費用132万3千円の減額補正をお願いしております。

最後に、第12款 予備費では、今回の補正から生じました財源4億265万7千円を保留することといたしております。

以上で、平成23度斑鳩町一般会計補正予算（第2号）につきましてのご説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

委員長 報告が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。 木澤委員

木澤委員 まず歳入のほうなんですけども、13款の使用料及び手数料で、保育園の保育料のところで減となっておりますけれども、この見込みより下回るということですが、見込み数として何人見込んでいて、実際募集が何人だったんですか。

教委総務課長 幼稚園の保育料のことだと思います。今、質問ありましたように、予算では304人を見込んでおりました。今、現実には277人というところでございます。当初、平成21年、22年の推移を見まして予算的には304人と計上させていただいた中で、平成22年が271人、平成23年が277人と現実には正味少なくなっているところでございますが、予算的には多すぎたということで補正をさせていただいたところでございます。

木澤委員 わかりました。あと歳出のほうにいきまして、総務費の東日本大震災支援対策費の水道事業会計の方で繰り出している分の、これ具体的には何になるんですか。

企画財政課長 奈良県を通して実施させていただいた応急物資の関係で、水のパック2,000お送りさせていただいたんですけども、その分を特別交付税を受けましたんで、一旦水道事業会計へ繰り出しまして、水道事業会計で補正予算をあげさせていただきまして、その分の補充をさせていただいたといった補正になっております。以上です。

木澤委員 歳出のほうの、私立幼稚園就園奨励の国庫補助が見直されたというふうに報告があったんですけども、これはどういう形で見直されたんですか。

教委総務課長 この改正につきましては、私立幼稚園就園奨励費補助金ということで、国のほうから補助金が入ってございます。その補助単価の限度額が毎年見直し

があるわけですが、今回もございまして、これに伴いまして、町のほうも見直しを行いました。実際にはその限度額、幅があるんですが、千円から3千円程度の限度額が上のほうに見直されましたことから、保護者の方に、対象者の方に支払う額がそれぞれに増えたものでございまして、総額で47万4,800円という増となったものでございます。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようでしたら、次に(3)子ども模擬議会の結果について、理事者の報告を求めます。 西川教育委員会総務課長。

教委総務課長 子ども模擬議会の結果についてご報告をさせていただきます。子ども模擬議会につきましては、去る8月10日(水)に開催いたしました。当日は、午前9時30分から、議会の議場をお借りいたしまして、各小学校の6年生と各中学校の1年生の合計17名の児童・生徒が一日議員となりまして、「未来の斑鳩町」というテーマで意見や希望を発表していただきました。

一日議員からは、「竜田川クリーンキャンペーンの実施」や「パゴちゃんを活用した町のPR」、「学校の屋上に太陽光発電のパネル設置」、「斑鳩音頭を広めたい」などの提案等、環境問題や交通安全、また斑鳩町の観光や身近な学校のことなどについて、さまざまな角度から自分たちの意見を発表され、ご意見をいただきました。

参加した児童・生徒には、議会や行政の仕組みなどに、より関心をもっていただく体験の場になり、また、一日議員として体験したことを各学校において、学級活動の中で報告するなど、「自分たちのまちのために何ができるのか」ということを、他の児童生徒、皆さんと学習する機会を持っていただくことを期待しています。

議長におかれましては、大変お忙しいなか、模擬議会当日及び前日の一日議員任命式にご協力いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。

以上、子ども模擬議会の結果についての報告とさせていただきます。

委員長 報告が終わりましたので、何かお聞きになりたいことがあればお受けいたします。

(な し)

委員長 他に、理事者側から報告しておくことはありませんか。
黒崎総務課長。

総務課長 総務課のほうから２点ばかり報告事項がございます。

１点目でございますが、第６回生駒郡総合防災訓練についてご報告申し上げます。生駒郡４町及び各町消防団並びに各防災関係機関と住民の皆様が緊密に連携して、地震・風水害に係る災害応急対策に関する訓練を総合的に実施することにより、有事に際して即応できる体制を確立するとともに、「自らの命は自らが守る」「自分たちのまちは自分たちでまもる」という自助・共助の体制づくりを推進するとともに、防災体制の万全を期することを目的として、生駒郡町村会及び奈良県消防協会生駒南支部が主催する、第６回生駒郡総合防災訓練を実施いたします。

実施の日時は、平成２３年９月１１日（日）午前９時３０分から午前１２時まで、実施場所は、安堵町中央公園多目的広場であります。

訓練項目として、訓練想定発表、被害情報収集、災害広報、瓦礫からの救出・水防工法、避難所開設・避難誘導・非常食・飲料水輸送、電力復旧広報、消火・救急救助及び防災ヘリとの連携、生駒南支部女性操法消防隊による操法、各町消防団ポンプ車及び西和消防署はしご車による一斉消火等を行うこととしております。また、同時進行訓練として、煙中体験、水消火器による初期消火訓練、救急応急措置の講習、災害用非常ダイヤル体験、炊き出し訓練なども行うこととしております。

なお、参加団体は、西和消防組合本部、奈良県防災航空隊、奈良県警、関西電力、ＮＴＴ西日本、日本郵便大和郡山支店、日赤奉仕団生駒郡地区奉仕団、奈良県農業協同組合、敷島製パン(株)であります。

以上、第６回生駒郡総合防災訓練についてのご報告とさせていただきます。

続きまして、2点目でございますが、第20回全国女性消防操法大会出場についてご報告させていただきます。

女性の消防隊の消防技術の向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的に、総務省消防庁及び財団法人日本消防協会主催の第20回全国女性消防操法大会が開催されますが、本年度は、奈良県消防協会の推薦により生駒南支部が当大会へ参加するものであり、生駒郡4町の女性職員等が8名が出場いたします。斑鳩町からは、税務課の山崎華苗主事補、及び健康対策課の馳川未南保健師の2名が出場いたします。

開催日時は、平成23年10月19日（水）午前9時30分から午後3時10分まで、開催場所は、横浜市消防訓練センターでございます。

なお、大会出場に向けての訓練を去る7月11日から開始し、延べ30回の訓練を行う予定であり、7月31日には、安堵町において結団式を行ったところであります。また、9月11日実施の第6回生駒郡総合防災訓練においても、練習の成果を披露させていただくこととしております。

以上、第20回全国女性消防操法大会出場についてのご報告とさせていただきます。

委員長 報告に対して何か質疑とかございませんか。

（ な し ）

委員長 他に理事者側から報告しておくことはありませんか。
佃田生涯学習課長。

生涯学習 町民プールの現在の利用状況につきまして報告いたします。

課長 8月15日現在の利用者数は大人1,917人、子ども3,551人で、合計5,468人となっており、昨年度の同時期と比べますと208人の減であります。これは今年も猛暑が続いておりますが、7月の海の日連休に台風6号が接近し悪天候が続いた影響によるものが大きな要因であります。

今日まで大きな事故はありませんでしたが、但し、7月24日には児童が鼻血を出しているのを利用者の方が見つけていただき、医務室で処置を行っ

たということがありました。このことにつきましては、通常ならば、監視員が先に対応し医務室まで連れて行かなければならないことであつたことから、監視の委託業者の責任者や監視員に対し、再度、十分に注意を払い監視を行うように指導をしたところであります。また、7月31日の大阪府泉南市の事故の報道を受けて、8月2日にも再度、監視の徹底を指導いたしました。町といたしましても、毎日1回は町民プールの監視状況等を確認しており、今後、後少しではありますが、事故のないように努めてまいります。

以上、町民プールの利用状況等の報告とさせていただきます。

委員長 報告に対し、何か質疑とかございませんか。 木澤委員。

木澤委員 今、事故に対する再度警戒の体制なんか報告していただきましたけども、特に今熱中症で倒れられる方が非常に増えている中で、プールなんかでもつきそいで見学に来られたりする方なんかは、ずっと水に入らないでおられる方なんかもいると思うんですけども。そうした熱中症に対する対策なんかはどう考えてはるのでしょうか。

生涯学習
課長 休憩時間等に、水分を取るよというこで、熱中症対策として、水分を十分に取っていただきますよというアナウンス等を流させていただいて、そういう対策を講じさせていただいています。

木澤委員 実際に体調がよくないというか、外出する方なんかも出られた際の体制なんかは十分取られていると思いますけども、特にやっぱ去年と今年と多いです。今後とも十分閉館まで運営には気をつけて頑張っていただきたいと思います。

委員長 他にございませんか。

(な し)

委員長 ないようでしたら私から、ちょっと今のプールの件でちょっと質問させて

いただきたいと思います。プールの、気分が悪くなられたということで利用者の方が先に見つけられたと、それは、そういうケースというのは場合によってはあると思うんです。その時に結局あれ、保健師さんとか確かいてくれてはったと思いますねんけど。そこでの対応で、気分が回復されて帰られたのか、救急車とか、そんな形になったのか、ちょっとそのあたり、もう少し詳しくお願いします。

生涯学習
課長

その方は鼻血を出して、朝から少年サッカーの練習をされておられた時に鼻を打たれて鼻血を出されたということで、そのままプールへ来られて鼻血を出されていたということで、利用者の方が見つけていただいて、医務室のほうへ監視員が連れて行って、処置をしたという状況で。それは止血も、止まった状態で、また再度、しばらく休息をはさんで、体力回復を回復したのを確認して、またプールへ戻ったということでございます。

委員長

今お話で看護師さんは医務室にはいていただいているわけなんですね。

生涯学習
課長

看護師1人が医務室に詰めております。

委員長

わかりました。他に理事者のほうから報告することはございませんか。

(な し)

委員長

ないようですので、以上をもって、各課報告事項については、終わります。
続いて、4. その他について、各委員より何か質疑、ご意見等があればお受けいたします。 木澤委員。

木澤委員

地域交流館の問題についてなんですけども。今、町のほうで計画を提示していただいて、ひとつ目については用地取得など進めていただいている状況ですが、それ以外のところでもいろいろ地域によって、地域交流館を建設していきたいなという思いなんかが見られる状況なんかがあるんですけども。どうもですね、地域交流館の目的とかがですね、なかなかきちっと理

解されていないのかなというような状況も見られる中でですね、以前から町のほうとして、住民の皆さんによくよく趣旨を理解してもらうようにということで、周知をしていただきたいというふうをお願いをしてきましたけども、特に町が計画している4つの地域の近隣の自治会なんかには、町のほうから説明会を開くと、なんか以前にも要望があがっていたかなと思うんですが、そのへんの点については町としてどのように認識されているのかちょっとお尋ねしておきたいと思います。

町 長

この関係は地域交流館ということで、町のほうから4つの案を示しております。その関係から今現時点では五丁の地域からですね、今年も用地を取得するということで予算化をしております。その関係等についてはですね、非常に地域、地域が熱が上がってます。やっぱり何を言いましても、用地を確保する、場所がどの辺がいいのかということは、これはなんぼ私は地域の方々に相談をされても、やっぱり地元がまとめていただかなければ。木澤委員がおっしゃるようにその地域へ話しますと、うちへほしいとそれは必ずおっしゃいます。しかしそこに用地があるのか、またその地域が西公民館とか、あるいはそういう公民館があるなかのことでございますから、私は何言いましても用地がだいたい皆さん方が使っていただいている地域としての交流という場、そういうものが一番大事であろうと思います。ただ、これを皆さん方に通知をして懇談会を開きますと、当然うちとこにくれとおっしゃいますけれども、くれとおっしゃったかて、用地がまとまらなかったらこれできませんし。五丁町でも私どもの鑑定価格に基づいて、地域の方々のご利用、その土地の利用者、その方々がやっぱり協力をいただかなかつたらだめなんです。それを地元がまとめていただく、そういうことの手はずが整っていますし、今現時点でも紅葉ヶ丘周辺では、やっぱりそういう場所を探していただいておりますし、自分とこで、地域の方々が、皆が相談をしてですね、やっていかなかったら。ただいろんな関係はございますよ、やっぱりバイパス反対とかいろんな関係がある。しかしその方々はそのことをあえてその地域の方々に申されてますから、そこで私はまとめていくことが一番大事だろうと。町が説明するというよりも、結局その地域の方々が話をしていただいて、まとめていただくのが一番いいと。町が行きますと必ず意見をおっしゃった

ら、その意見が必ずはいっていくわけです。仮に開きますと、そんなんうちにもってこいと、そのままの意見がずっといくわけです。いつまでたってもそれはまとまっていきません。だから、そういう地域としては、私はありがたいのはこういう関係の中で第2の候補地として、今、現在そういう模索をされている。やっぱりそういう準備をされている。だからその人が、自治会長が隣のところへも相談に申しあげて、いろいろとそのことは町に言うて来られます。町としてはそれはもう地域のことから、地域交流館ですからと、そういう説明をさせていただいてます。

当然私は木澤委員のおっしゃるようにそういう地域交流館という1つの関係等についても、皆さん方積極的にそういうまとめていただいて、そしていい交流館ができるということが、私は望ましいと思いますし、それが皆さん方にとってはありがたい話だと思っております。

木澤委員　町長おっしゃいますようにね、そこに入って、どこにするかという、そういうことについて町が口を出すということじゃなくて、聞きますと自分のところの集会所をつくるみたいな認識でどうも動いておられるような、そういうことになってしまってもまずいなということもありましてね。やはり町民の皆さん全体で使っていただく施設で、やっぱり身近な地域としても利用していただけるようなものであるという位置付けですね、をきちっとご理解いただくことがまず必要かなというふうに思うんです。その点については町のほうとしても、どういう形でね、住民の皆さんにそれを周知していくのか、ということについて、町のほうで考えておられることがあったらお聞かせいただきたいなと思ったんですけど。

町　長　　今、木澤委員おっしゃるように、これは地域、地域の特性ですから、当初は神南、あるいはそういう補償の関係からですね、神南・昭和団地も補償に係わってですよ、公民館を作った。ほんだら笠町もつくってくれと、そういう話は当然ございました。しかし現時点では笠町の方々も、今、神南の昭和団地の自治会館も小地域の方々も使っていただいています。なんや言う、笠町にあった場所が売却するということで決まったものですから、現時点では神南の昭和団地を使っていただくと、やっぱりそういうことを交流していく

ということも、私は一番大事だろうと思います。これはもう木澤委員がおっしゃるようになりますね、それはすべてが整って、地域、地域でできれば最高でございますけれども、なかなかそう簡単には私はいかないと思いますし、何を言いましても、最初、地域交流館は龍田の東町ということであったけれども、用地がまとまらなかった。100%までいく段取りしてたんです。ただやっぱり値段的に話がつかなかったということがございましてですね、しばらく冷却置こうということで、こうきたわけでございますので、そういう点の理解というか、これから私は地域交流館というのは、これからの皆さん方が本当にご利用いただける、またその地域、あるいは周辺の方々もまた利用できる一番いい絶好のコミュニティの場所ではないかなと思っております。

木澤委員 そしたらこの問題については町のほうとして、きちっと住民の皆さんがこの地域交流館建設の趣旨を理解していただけるように、町とても今後も周知に努力していただきたい、ほんで、やはり個々に要望なんかがあった際には、十分に町として説明なんかも行えるようお願いしておきたいと思います。

それとですね、それにも係わることなんですけども。今消防コミュニティセンターが、地域の皆さんの管理によって運営されているんですけども、今後、消防コミュニティセンターをモデルとして地域交流館、今後いくつか建設をされていくことになると思うんですけども。管理運用の面で、今の規則がある中で運用をされていると思うんですけども、以前、この総務委員会の中でも、その規則についてもう1回きちっと整理をしていく必要があるんじゃないかというような意見もあったんですけども。そこについてはどのようにお考えになっているんでしょうかね。

総務部長 消防コミュニティセンター設置条例及び施行規則がございます。この中でひとつは、使用に際して、この受け付ける時の期間等が載っていないというお声が住民の方からもございました。こうした中で受付の期間ですね、申し込みの期間、例えば2ヶ月前にするとか、1ヶ月前にとか、そういった声が聞かれております。そのようなことについての規則の改正ということを検討していかなければならないのかなというふうに考えております。それともう1点は、住民の方から最近お問い合わせがあったんですが、この消防コミュ

ニティセンターに駐車場がございます。利用者がその駐車場に最近停められて会館を利用されるというケースが出てきておりますので、これにつきましても、この規則の中では緊急活動に備えて駐車場には自動車を停めないことというふうに、使用者の遵守事項として謳われておりますので、これの徹底を、申し込み時に徹底をしていきたいと思っております。以上です。

木澤委員 申し込みの期間の話ですよね、やはり町民の皆さんが公平に使えるような形で、やはりきちっと基準を決めといたほうが、今後もね、いくつもできていく中で、それぞれが違うような運用を行っているということになったらまずいですから、きちっとしたものをつくっていただきたいというふうに思います。あと駐車場の件に関してですけども、今までは停められてたのになんでやという声も、私もいくつか聞いているんですが、やっぱり緊急時に車が、消防団の方が来られて、車が停められないという状況はまずいというふうに僕も思うんです。その緊急時の状況っていうのが、なかなかその場に出くわすことも少ないですので、ちょっとどういう状況になっているのかというのをね、お聞かせいただきたいなというふうに思うんですけど。

総務部長 この消防コミュニティセンターはご存知のように消防第1分団の詰所も兼ねております。その中で火事・火災等が起こりますと、その消防団の団員の方が駆けつけます。駐車場のスペースにつきましても12、3台のスペースしかございませんけども、団員は30名程おられますので、それぞれがこぞって駆けつけられますので、駐車場は満杯になる状態であります。また駐車場のその枠につきましてもはみ出して停めておられる状況でございます。

委員長 他にございませんか。 飯高委員。

飯高委員 1点だけなんですけども。今般の震災を受けて、斑鳩町の各自治会において防災意識というんですか、強まっているなと思うんですけど、その中で各自治会にある格納庫ですね、点検されている状況があると思うんです。そうするとその格納庫を開いてみると、消防機器いろいろ入っているんですけども、ホースとかハンドルとか筒先とか入っているんですけども。盗難があ

るということでよく聞くんです。それは当然日ごろから点検をしていただかないといけないんですけども、注意を払って、その盗難があったことによって補助申請というか、していただくんですけども。ところが最近予算の枠というのがある程度立ててあって、それ以上になってくると来年度にまた申請をお願いしますという形を取られているみたいなので、その辺がちょっと聞いたことによると、そういう形になっていると。やはり早急に申請、スムーズにできて、やっとそれが購入できて、早期に設置できるような体制というのは必要であるかなということを思うんですけども、最近の状況についてお聞きしたいと思います。

町 長

この関係等については、1月の自治会連合会の新年互例会で五百井の自治会長さんから消防の格納庫の関係で言っておられましたけども、他の自治会はございませんかというご提案もありまして、それを速やかに早くしてほしいということで、私は担当の職員にね、速やかにするということで。今、飯高委員もおっしゃるように、じきに私の関係は、とにかく今年度の予算はこんだけしかありませんねんと、そんなことよりも緊急性を考えたら、そういうこともあって補正も組まないかんということをしていかんと、時期に職員の言葉というのは、もう枠はこんだけですと。枠はこんだけ言ったかているものはいるんですから、やっぱりそういうご理解をしていかんと、その自治会の方々は熱心にですね、そりゃ一生懸命、今20程自警団というものを組織していただいていると。それは県にしても国にしてもやっぱり何を言っても自警団はつくってくれとって県からも指令くるわけです。自警団をつくらせていただいたら、必ず毎月1回ぐらいはやっぱり小型ポンプの点検も恐らくされていると思います。また油の関係もありますから。やっぱりそういうことをやっていくことによってその地域を守っていただけると。私どもにとってはありがたい話ですから。飯高委員のご指摘のように、現状としては今年の1月の新年互例会でそういうご発言があって、やっぱりそういうことになりますと、ホースとか盗まれる関係もあろうかと思います。やっぱりそれについては速やかに補てんをしていかんと、しばらく金あれへんから待ってくださいということには私はならないと思います。やっぱり緊急性の高いものについてはやっぱり早く処置をするということで、やっぱり職員もそうい

う気構えを持たなかったら、金がないよってに、金みたいなんなかったかて補正を組んでいかんと、これもやっぱり繰越金でも4億なんぼあるわけですから、議員さんのご指摘のようにですね、当初77億の予算でも80何億やないかと指摘されますように、やっぱりそういうことの緊急性というのは、私は十分気持ちを持って、職員がそういう気持ちを持たなかったら、やっぱり住民の方たちも一生懸命我々やっているのになんでこういうことでけへんねんと、やっぱり補助ももらってですね、それも全額は町でするんではなしにですね、やっぱり地元かて盗まれたけども町の要綱に従って、補助をもらってホースをしますということですから、そういう気持ちに私は職員もなっただいて、できるだけそういう速やかに対応できるような処置をしたいと思っております。

飯高委員 町長の言葉を聞きまして安心いたしました。これから盗難はあったらいかんねんけども、やはりそういった箇所点検されているところはそういう形で出てきています。ところが全然点検今までやったことないと、いうところも各自治会によってはあると思うんです。今後やはり危機意識というか、今回の震災を受けて、やっぱりなおさら意識を高めていくと同時に啓発をもお願いしたいなと思います。これはやはり地域を守る最前線で守っていくための1つの手段として、やっぱりそういったものがありますから、周知も含めて今後よろしく願いいたします。

委員長 他に質疑、意見等ございませんか。

(な し)

委員長 その他については、これをもって終わります。

以上をもちまして、本日の審査案件については全て終了いたしました。なお、本日の委員会報告のまとめについては、例により正副委員長にご一任いただきたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

委員長 ありがとうございます。それでは、閉会にあたり町長の挨拶をお受けします。 小城町長。

町 長 皆さんには早朝から終始熱心にご審議賜りましてありがとうございます。特に町の関係等について、ご心配いただいている関係等については、町としてもこれからも職員がそういう体制になって、せっかく大槌町に行った職員もおるわけですから、そういう自覚と責任を持ってできるだけ対応していきたいということでございます。これからも9月から議会が始まりますけども、総務委員の皆様方には今後ともご指導・ご鞭撻いただいて、できるだけ町が皆様方から信頼される町として頑張ってまいりたいと思います。本日はありがとうございました。

委員長 これをもって、総務常任委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

（ 午前10時12分 閉会 ）